

寺院：宮城県第4教区第80番東禪寺

住所：宮城県名取市閑上2-16-3

寺院の被害	・ 津波により、本堂、庫裡、その他の建物が全壊し流出した。 ・ 墓地も流出するなど、境内の土木構造物にも被害が生じている。
寺院の現状	・ 現在借家に居住している。 ・ 檀信徒の離散や経済的問題、先の見通しが立たないことを心配しており、精神的肉体的疲労を抱えている。 ・ 法類が所有する建物を借用して檀務を行っている。 ・ 離檀等により、葬儀及び、年回供養が減少し、寺院収入が震災前より半減している。
檀信徒の現状	・ 震災で自宅に住めなくなり、仮設住宅などに避難を強いられている檀信徒がいる。居住先は9割程度把握しているが、転居先が二転三転するため一部把握できていない。 ・ かなりの離檀があり、復興に時間がかかるため現在も増加中である。 ・ 長期の避難生活でストレスがたまり心身の不調をきたしている高齢の檀信徒がいる。 ・ 仮設住宅のため、居住環境が悪化しストレスを抱えている子どもが増加している。
地域の現状	・ 寺院が所在する名取市は、地盤の嵩上げによる現地再建及び、集団移転の併用での復旧を計画している。今後5メートル嵩上げする予定（平成26年秋より工事着工予定） ・ 住民の意向調査によると、震災前の人口の25%しか現地に戻らないという結果が出ている。
復興の状況	・ 震災前の状態に戻すことはかなり困難である。しかし檀信徒の安寧の為に最低限の伽藍の復旧（本堂、庫裡）は果たしたいと考えているが、経済的理由により自力再建は厳しいのが現状である。 ・ 檀信徒の大半が被災しており自宅再建さえできない現状なので、寺院復興のための寄付をお願いすることは難しい。宗教法人であるため公的助成金も望めない為、なんとか宗門より給付方式での支援を切望しています。

（H25.8.1現在）



（撮影H25.11.5）